

だから

あなたを

<sup>う</sup><sup>か</sup>合格らせたい！

司法書士一発合格法

出版記念講演会

講師作成レジュメ

辰巳講師・司法書士

田端恵子

辰巳法律研究所



## 「だからあなたを合格<sup>う</sup>かせたい！司法書士一発合格法」

### 出版記念講演会

どのような気持ちで書いたか？

「一発合格法」とタイトルにあるが、一発合格してほしいというよりも、  
「こんな私でも努力したらできた。やってできないことはないから頑張してほしい！」  
という気持ちで書いた本

どのように読んでいただきたいか？

書いている勉強法はすべて、私が受験生の時に合格するためにできそうなことは全部したいと思って実践してきたこと

- ・これから勉強をはじめの方に真似していただく
- ・「合格までの距離」のサンプルの1つにする
- ・現在受験生だという方に今までの勉強方法を振り返るきっかけにして、「使えるな」という部分を取り入れていただく

資格取得をめざすかは、メリット・デメリットで考える

#### 【メリット】

- ・今の仕事よりも年収，社会的地位が上がる etc.
- ・仕事内容に惹かれる，合格してからの理想の働き方・生活のビジョンがある
- ・勉強が楽しい！ →楽しめるのであれば，多少デメリットがあっても続けられる

#### 【デメリット】

- ・お金がかかる
- ・時間を費やす →現在の生活と両立しなければならない

## 司法書士試験に合格するメリット

- ・法律系資格の中でも，独立開業に向いている  
→定年がないので，年をとっても続けられる
- ・年齢に関係なく就職することができる
- ・受験資格に学歴の制限がないので，大学を出ていなくても挑戦できる  
→挑戦はできるが，ライバルの受験生にはある程度の学歴がある人が多い  
学歴＝自分が歩んできた道なので，勉強を続けられる人間か？を考えてからはじめる

## 今から来年合格をめざす！合格スケジュール

### ・初学者の場合

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1 周目 (①)	民法	不登	会社	商登 民訴	民訴 民執 民保	憲法 刑法	供託 司書		本試験 シミュレーション 苦手論点の克服と
2 周目 (②)		民法	不登	会社	商登 民訴系	民訴系 3科目	憲法 刑法	供託 司書	
3 周目						全科目の最後の1周を 3～5月で終える			
記述 (③)				解き方の形をつくる。論 点がいくつか入った問題 を解くと◎			答練・模試などを利用し 本試験レベルの問題を解 く。		

### ①わからなくてもとりあえず前に進む

→1周目からすべて理解できる人はほぼいない。過去問演習や2周目でわかりはじめることもあるので1周目から完璧は目指さずに進める。

### ②2周目からは「過去問→テキストでの復習」

③記述対策は不登・商登各科目の1周目を終えた時点からはじめてもOK

・ 2年目以降の場合

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1 周目	全科目 or 得意科目を除いた科目を1周 (①)								↓ メ ジャー 論 点  ↓ 苦 手 論 点 ↓ 手 薄 論 点
2 周目				全科目。できている論点は過去問を減らす (②)					
3 周目				全科目の最後の1周を3~5月で終える					
記述				解き方の形をつくる。論点が入った問題を解くと◎			答練・模試などを利用し本試験レベルの問題を解く。		
本試験 シミュレ ーション	本試験では「知識の精度」だけではなく「解答スピード」「正解を選ぶ解答力」も必要。日ごろから本試験で一枝・一問に使える時間を想定して問題演習する。答練・模試も本試験シミュレーションのために利用する。(③)								

① 1周目でまわさない科目=しばらく離れてても平気な科目

→今年の本試験で失点しなかった, 年明けからの対策で十分間に合わせる自信がある科目。1周目の日ごろの勉強でまわさなかった科目は年末などまとまった時間がとれる日に勉強しても◎

②理解できている論点の過去問は演習量を減らしてOK

→正誤・理由・解答スピードすべてが完璧な論点については重複する過去問を解かずに演習量を減らし, 理解できていない論点の勉強時間を多くとる。

③直前期からではなく, 日ごろの勉強から本試験を意識した演習をする

### ディスカッション勉強法

おわりに





# 絶対合格！ 田端恵子

## 辰 巳 法 律 研 究 所

大阪本校：〒530-0051 大阪市北区太融寺町 5-13 東梅田ハ゜ルビル 3F

TEL06-6311-0400 (代表) ファクシール 0120-27-5509

<http://www.tatsumi.co.jp/oosaka/>

京都本校：〒604-8187 京都市中京区御池通東洞院西入る笹屋町 435

京都御池第一生命ビルディング 2F

TEL075-254-8066 (代表)

東京本校：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-3-6

TEL03-3360-3371 (代表)

名古屋本校：〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-23-3 第2アスタービル 4F

TEL052-588-3941 (代表)

福岡本校：〒810-0001 福岡市中央区天神 2-8-49 ヒューリック福岡ビル 8F

TEL092-726-5040 (代表)

横浜本校：〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-23-5 銀洋第2ビル 4F

TEL045-410-0690 (代表)

### 【提携校】

岡山校：〒700-0901 岡山市北区本町 6-30 第一セントラルビル 2号館 8F

TEL086-236-0335 (代表)